

平成 29 年 6 月 1 日

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会
会員 各位

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会
理事長 室井 一男
安全委員会
病院情報システムタスクフォース
トレーサビリティチーム
マスタ標準化作業部会
担当理事 紀野 修一
委員長 大谷 慎一
部会長 奥田 誠

輸血管理システム内に保存されている「マスタ」の標準化に対する
パブリックコメントの募集について

病院情報システムタスクフォースは、医療現場で実施する輸血医療の安全の確保および向上を目的とする患者安全ガイド策定チームと輸血管理システムの内部に保存されているデータのマスタ統一および活用を目的としたトレーサビリティチーム、2つのチームで編成されています。

今回、トレーサビリティチームにて、医療機関相互の情報交換、ビッグデータの二次利用、厚生労働省等のアンケートなど数々の作業の支援として、医療機関独自で作成されたマスタとは別に学会が定義する共通のマスタを作成することと致しました。

現状マスタは、医療機関独自で作成され、血液型を例に『O型』という情報に対して、A医療機関では『0000』、B医療機関では『1111』というマスタを使用し保存されています。

この場合、A医療機関とB医療機関で情報交換をするには変換が必要となりますが、学会が定義したマスタが存在することにより、変換は不要となり、日本全体で『O型』のマスタが統一されることとなります。

現在、本作業を「患者安全ガイド（輸血編）」の作成時と同様に JAHIS と協力し、以下に掲げる「マスタ標準化」（案）を作成しましたので、これらを更に充実したものにしていくなためにもパブリックコメントを実施し、皆様からの意見を基に、日本全体で利用できる「マスタ」を作成したいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

記

1. 募集期間 平成 29 年 6 月 1 日（木）～平成 29 年 6 月 30 日（金）
2. 宛先 pub-hyojun@jstmct.or.jp
3. 対象マスタ
 - ① ABO 血液型および RhD 血液型マスタ
 - ② 不規則抗体マスタ（適合血選択のみ）
 - ③ 製剤マスタ
4. 留意事項
 - ① 医療機関独自で作成されたマスタを継続的に使用することを前提としています
 - ② 医療機関の判断で、システムリプレイスに合わせて学会が定義するマスタを使用していただくことも可能です
 - ③ 本パブリックコメントは、各医療機関に特定した内容に特化せず、全国的な視野に立った意見を希望します

以 上